

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 22号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」(通称:元気ムラ応援サイト)で紹介している地域活動を、より多くの皆様に紹介するために発行しております。

●発行日: 令和元(2019)年 11月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

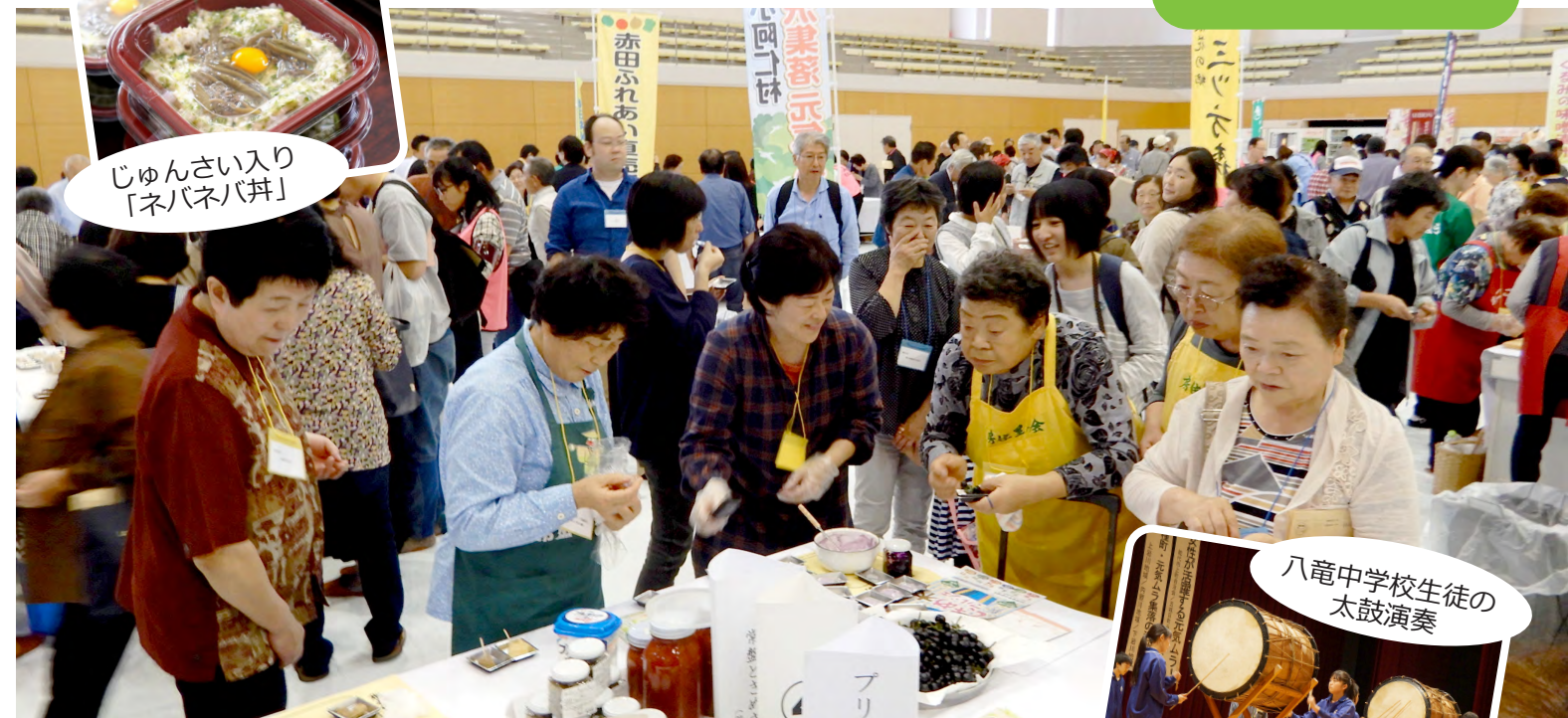
- Twitter アカウント
→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!



じゅんさい入り
「ネバナバ丼」



八竜中学校生徒の
太鼓演奏

「あきた元気ムラ大交流会 2019 IN 三種」を開催!

三種町に元気ムラ大集合!

「あきた元気ムラ大交流会」は、市町村の枠を越えた地域同士の交流を通じ、集落の新しい活動の「きっかけ」づくりの場になることを目的として開催しています。

今年で 8 回目となる大交流会は、10月5日(土)、三種町琴丘総合体育館で開催しました。県内から 52 団体 386 名が参加し、地域づくりに取り組む集落等の事例紹介や、地域の伝統料理の試食交流会で盛り上がりました。



三種町の 3 地域の事例紹介



県内から386名が集まりました。

事例紹介では、地元の三種町 3 地域(上岩川、内鯉川、下岩川)と、能代市上町地域、五城目町浅見内地域の 5 人が活動を発表しました。

おなじみの試食交流会には、県内の 20 団体が約 50 食を出展。参加者からは「他の地域が頑張っている姿を見られた」「自分たちと共通の問題に取り組んでいることが分かった」「元気をもらった」という声も聞かれました。

地域の力で「三種の神器」を見つけよう!

「元気! やる気! 創造!」



「女性が活躍する元気ムラ」で活動発表する、能代市上町の能登祐子自治会長（左）と五城目町浅見内の「みせっこあさみない」の松橋勇子店長（右）。



試食交流会では、地元の三種町から、上岩川地域（しいたけうどん）、まごころの会（おやき）、下岩川地域（どじょうの唐揚げ）、鶴川地域（こはぜジュース）が出展しました。



会場でひとときわ目立っていた上岩川地域シンボル「房住山」をかたどったジオラマ。



三種町の八竜盆踊り保存会、内鯉川盆踊り保存会による盆踊り! 近隣の男鹿市、五城目町の皆さんも盆踊りに飛び入り参加してくれました。

大交流会を振り返って

参加者からは「料理の種類が多くて驚いた」「女性の活躍に感激した」という声が聞かれました。各地で活動している人が集まることで元気なエネルギーが生まれます。多くの皆様のご協力により大盛況で終わることができました。ありがとうございました♪



NEW OPEN

南外さいかい市がオープン!



10月13日(日)、大仙市南外の外小友地区に住民が運営する食料品店「南外さいかい市」がオープンしました。6年前に地区唯一のスーパーが閉店し、高齢者の買い物手段の確保が課題となっていました。住民の皆さん

がお互いさまスーパーの視察を行うなど、開店準備を進めてきました。これからの活動が楽しみです♪

- 場所：大仙市南外松木田 38-5
※温泉施設「南外ふるさと館」駐車場
- 営業時間：午前10時～午後6時
(定休日：火・水曜日)

地域づくり推進課の活動報告

その1 コミュニティ生活圏のワークショップ開催中！



五城目町馬場目地区のワークショップの様子

地域づくり推進課では、人口減少や少子高齢化により、単独集落では対応できない課題を『コミュニティ生活圏（※）』で連携して解決を図る事業を展開しています。

………コミュニティ生活圏とは………

※複数の集落からなる地域住民が一体感を感じ、歴史・文化的なまとまりや住民の合意形成を図りやすいエリア（旧小学校区・公民館区等）のこと。秋田県の造語。

10月7日に大館市山田地区、9日に男鹿市男鹿中地区、11日に五城目町馬場目地区で1回目のワークショップ（以下WS）を開催し、人口分析結果をもとに人口増減の要因を検討し、住民の皆さんが地域の将来について考えました。11月には2回目のWSを開催し、地域の強みを生かし、弱みを補う仕組みづくりを考えます。住民一人ひとりが地域の将来について自分のこととして考えることが重要となってきます。

今年度は、横手市山内地区、羽後町仙道地区でもWSを行う予定です。今後、市町村報告会、全県報告会も開催しますので、是非ご参加ください。

その2 秋田県の実家の味を商品化しよう！



横手市保呂羽地域の試食会の様子

9月4日と5日、株式会社京北スーパー（所在地：千葉県柏市）代表取締役の下西琢也氏が、GBビジネスに取り組む大館市山田地域と横手市保呂羽地域へ訪問し、漬物などを首都圏で常時販売ができるよう、ご試食いただき、商品化に向けたアドバイスをいただきました。



家庭の味がずらり！

この時の試食会で作った「糸かぼちゃの味噌漬」や「山菜ピクルス」などの8品は、10月に京北スーパーで開催した「秋田県フェア」で、初めて店頭に並びました。秋田の実家の味が、首都圏へ広がりを見せています！

地域の元気お届けマーケットを開催します！

県内の町内会や自治会等の地域団体が、自慢の食材や工芸品を販売し、地域をPRするイベントです。

令和元年（2019年）開催時間 9:30～15:30

開催日

11月16日（土）～17日（日）

場所：秋田駅東西連絡自由通路「ぽぽろーど」トピコ入口前
今年最後のお届けマーケットです！ぜひお立ち寄りください！



今年は2つの台風が猛威をふるい、日本各地に痛ましい爪痕を残しました。防災に注目が集まる昨今、地域防災に力を入れる3地域をご紹介します。

能代市上町

自治会の枠を越えてつながりを

48世帯107人が暮らす上町は、能代市の中心市街地に位置します。平成17年に自治会で自主防災組織を立ち上げた後、毎年防災セミナーを開催し、女性部すみれ会が中心となり災害時に役立つ非常食づくりなどにも取り組んできました。

昨年は、上町を含む能代市内10の自治会で「能代第一自主防災協議会」を立ち上げました。大館市の沼館地区、秋田市の旭南地区とも連携し、お互いの防災力アップに取り組んでいます。



上町地域
能登祐子さん

人が減っていく中で、単独の自治会だけではお互いを助け合うのに限界もでてきます。地域内だけでなく、他と繋がりながら活動を続けたいです。

上町の非常食づくりの様子



カップ麺も水を入れて、通常の倍、時間をかければOK。冷凍食品は2時間程、自然解凍すればおいしく食べられます！

三種町内鯉川

全員参加型の防災組織づくり

45世帯120人が暮らす内鯉川自治会では、平成26年に自主防災組織を立ち上げました。モットーは「みんなで作ろう楽しい地域」。防災訓練も全員参加を目標に行っています。

多くの住民に参加してもらうには、普段の地域行事を通じた人のつながりが大事です。消防団の火災予防の家庭訪問や、直接顔つき合わせて防災チラシを配布するなど、地道な活動が効果を発揮していると思います。



内鯉川地域
田中国光さん

防災を全て行政に任せるのではなく「自分たちができることは何か？」「自分たちの地域は自分たちで守ろう」と常に考えています。地域の被災状況を自分たちから情報発信できるようにしていきたいです。



90人以上が参加する防災訓練

昔からの「となり組」を活かし、町内に情報連絡班をつくりました。普段の人と人のつながりが災害時に強みを発揮します

横手市金沢

防災運動会やっています！

10月20日(日)、横手市金沢地域で防災運動会が開催されました。住民の防災意識を高めようと考えていたところに、中学校の閉校と共になくなった運動会を開催したいという若者たちの希望もあり、楽しい運動会と真剣な防災、二つの行事を合体させて実現しました。今後は、各町内で避難所の確認や避難マップを作る予定です。



こんな活動もあるよ！

編集後記

人口減少の中で、いかに地域行事を維持するかが課題となってきていますが、横手市金沢地域のように2つの行事を組み合わせることで、住民の負担を減らす効果もあります。楽しさを忘れずに、地域の大事な行事を残していきたいですね。

元気ムラ通信のご感想・ご意見もお待ちしております！